



学校だより

～ ひびきあう心 かがやく笑顔 ふれあいの丘 斎藤分 ～



令和8年9月30日 10月号

横浜市立斎藤分小学校 校長 小笠原 洋平

～実りの秋、挑戦の秋～

校長 小笠原 洋平

朝夕の涼しさが日ごとに増してきて、秋らしい澄んだ空を目にするようになりました。暑かった夏もう終わりなのかと思うとほっとするとともに、一抹の寂しさも感じます。

さて、秋になるとよく「〇〇の秋」という言葉を耳にします。スポーツの秋、食欲の秋、読書の秋、芸術の秋…。枚挙にいとまがありません。しかし、どれも秋の良さが表現されている言葉です。例えば運動しやすい爽やかな気候であること、多くの作物が収穫される季節であること、穏やかな気候で読書や創作活動に集中しやすいこと。皆さんは何の秋が好きでしょうか。

学校はというと、令和8年度の前期を終える時期になりました。4月からの半年間、日々の学校生活や家庭での生活を通して、子どもたちは心身ともに大きく成長しております。まさに「実りの秋」です。一人でいろいろなことができるようになった1年生、1年生のお兄さん、お姉さんとしての姿を発揮する2年生、難しくなった学習にも果敢にチャレンジする3年生、委員会活動も始まり、学校の役割に責任をもって取り組む4年生、高学年の一員として6年生を支える5年生、最学年として下級生みんなに優しく接する6年生。子どもたちの姿はいつ見ても頼もしい限りです。そして、学年末に向けて一人ひとりが自分のめあてをもって挑戦を続け、さらに成長できるよう、支援を続けてまいります。

また、10月開催の丘リンピック（運動会）に向けての練習が本格的になってきました。そうです、「スポーツの秋」です。1年生にとってはもちろん初めての運動会であり、徒競走や演技、競技、きっとドキドキしたり緊張したりすることでしょう。2年生から5年生は、昨年から成長した姿が発揮されることと思います。そして6年生にとっては最後の運動会です。一人ひとり、大きな思いをもって臨むことと思います。運動会には競い合いもありますが、結果にとらわれることなく、その過程も大いに価値付けて、子どもたちを育ててまいります。

先日、5年生の子どもたちとともに、みなとみらいホールで行われた、「心の教育ふれあいコンサート」に行っていました。横浜が誇る大きなパイプオルガンのある、本格的なコンサートホールで、神奈川フィルハーモニーによる演奏を聴くことができました。子どもたちにとって、「芸術の秋」を実感する貴重な機会となりました。現在は、スマホやタブレット等で、好きな音楽をどこでも容易に聴いたり、動画を見たりすることができる時代です。そんな時代だからこそ、コンサートホールでの生の演奏を聴いたり、見たりした子どもたちは、「演奏の迫力がすごかった。」、「拍手を通して、オーケストラと一緒に演奏に参加できて楽しかった。」、「初めて生のオーケストラの演奏を聴いたけれど、本当に楽しかった。また聴きたい。」等と口々に言っていました。本物に触れる体験だからこそその感動があったようです。

最後になりますが、9月26日（土）にPTAふれあい祭りが行われました。あいにくの天候ではありましたが、太陽のような笑顔で楽しむ子どもたちの姿が見られました。ご尽力いただいた皆様、本当にありがとうございました。子どもたちの笑顔を支えてくださる保護者・地域の皆様とのつながりの大切さを改めて感じる一日となりました。